

# 安中碓氷ユネスコ便り

発行 安中碓氷ユネスコ協会

編集 安中碓氷ユネスコ協会事務局 安中市松井田文化会館内  
〒379-0221 安中市松井田町新堀530 TEL (027) 393-4401

印刷所 株式会社 ダイワプリント



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



(公社)日本ユネスコ協会連盟

ユネスコ  
会員網領

- ◇ 心の中に平和の守りを固めよう
- ◇ すべての人間の尊厳を重んじよう
- ◇ 教育・科学・文化の発展に努めよう
- ◇ 民族間の疑惑と不信を除こう
- ◇ 世界を友愛と信頼のきずなで結ぼう

2025年2月28日松井田中学校が国連ユネスコ本部より晴れてユネスコスクールに加盟承認されました。そして、7月18日、当協会からユネスコスクールのプレートを贈呈し松井田中学校のユネスコスクール発足を開催しました。ESD（持続可能な社会の担い手の育成）の推進拠点として松井田中学校が幸先の良いスタートを切れたことに心よりお喜び申し上げます。

### 松井田中学校 ユネスコスクール加盟承認



ぐあいやつ

ユネスコ理念「人の心の中に  
平和のとりでを築く」の実現に向けて

安中碓氷ユネスコ協会会長 矢野 薫

今年度、当協会の取組の一つの柱は、碓氷峠鉄道施設群のユネスコ世界文化遺産登録を目指し安中市の機運の高まりに貢献することです。令和6年4月、安中市は碓氷峠鉄道施設群のユネスコ世界文化遺産登録を目指し有識者会議を発足させました。さて、日本ユネスコ協会連盟の取組に「世界遺産活動・未来遺産運動」がありま

### 碓氷峠鉄道施設群の ユネスコ世界遺産登録を目指して

す。未来遺産運動とは、自然景観、伝統的な街並み民俗芸能や祭りなどの地域の遺産を100年後の子どもたちに伝えようという取組です。また世界遺産活動とは、主に途上国のユネスコ世界遺産を将来に向けて保存し、未来の世代に引き継ぐという取組です。世界遺産が未来に渡って保存されるということとは、平和でなくては実現しないことであり、ユネスコの目標と言

えます。当協会は碓氷峠鉄道施設群の世界文化遺産登録を目指しています。世界遺産に登録されるためには、世界遺産に相当する「顕著な普遍的価値」を有するとともに、多くの方にその価値をご理解いただき、世界遺産登録に向けた市民の機運の高まりが必要だと考えています。その一助として、6月1日、アプトの道ウオーキング大会を群馬県ユネスコ連絡協議会視察研修会と併せて開催しました。

### ユネスコシンポジウム IN安中 2025の開催

もう一つの柱は、「人の心の中に、平和のとりでを築く」ことを目指した活動です。ユネスコの目的は、ユネスコ憲章前文の「戦争は人の心の中で起こるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」に尽きます。当協会は、2022年2月、ロシアによるウクライナ軍事侵攻が始まると、ウクライナ隣国のルーマニアやポーランドへの避難民の支援へと活動を方向転換しました。そして9月13日群馬大学

ウクライナ留学生の協力を得て、ユネスコシンポジウムIN安中2025を開催しました。市内の高校生を中心に安中市国際交流協会



等約70名の参加を得て開催となりました。テーマ「真の平和とは何か?」ウクライナ避難民から学ぶこととし、群馬大学ウクライナ留学生のマリア氏に、ウクライナ軍事侵攻の実態を紹介していただきました。シンポジウム開催にあたり、群馬大学ウクライナ留学生のマリア氏を始め、海外交流課長の三好京子様にご支援・ご協力を賜りましたことに心より御礼申し上げます。また、新島学園中学校高等学校、安中総合学園高等学校、松井田高等学校、安中市国際交流協会の皆様の多大なるご協力に心より感謝申し上げます。※詳細については本文を参照してください。



# 松井田中学校

## ユネスコスクール発足式

— ユネスコ理念の実現に向けて —



安中碓氷ユネスコ協会 副会長 瀧田 和則

令和7年7月18日、松井田中学校でユネスコスクール発足式を開催しました。

矢野 薫会長よりユネスコスクールプレートを大塚康史校長先生に贈呈し、お祝いの言葉が述べられました。大塚校長先生から全校生徒に「どうか、この松井田の地から、世界へと大きく視野を広げて

ください。そして何よりも、未来をより良くする力は、自分の中にあるということ、強く、強く信じてください。」と力強く呼びかけました。松井田中は、これまでユネスコスクール加盟校であった松井田北中(2017年2月1日承認)と非加盟校の松井田中が令和5年4月1日に統合しました。



加盟校と非加盟校が統合しユネスコスクールを継続するには、ユネスコ国内委員会の審査を通過し、キャンディデートの承認を受け、国連ユネスコ本部に加盟申請することが出来ます。松井田中は、令和6年6月、ユネスコ国内委員会からキャンディデートに承認され、令和7年2月28日付で国連ユネスコ本部より加盟が承認されました。松井田中のユネスコスクール加盟承認は、これまでの「ふるさと松井田再発見」や「安中で働く!」「ふるさと恩返しプロジェクト」等の総合的な学習を通じて、自分たちが生まれ育ったこの場所を深く学び、地域と関わる力を育んで

きた学びの積み重ねや、日本ユネスコ協会連盟の「世界寺子屋運動 書きそんじハガキキャンペーン」、「能登半島地震災害子ども支援募金」等生徒会を中心とした取組、ユネスコシンポジウム等の地域ユネスコ協会との連携が、この承認につながったものと言えます。つまり、松井田中の取組がユネスコスクールとしてふさわしいと国連ユネスコ本部に認められた結果です。また、安中市では碓氷峠鉄道施設群の世界文化遺産登

**新島学園**  
中学校・高等学校

校長  
小栗 仁志

安中市安中 3702

TEL **381-0240**  
FAX **381-0630**

**後閑あさひ保育園**

TEL **385-5541**

**あさひ第二保育園**

TEL **384-1501**

**(株)相川管理**

相川 北斗

前橋市問屋町2-14-9

TEL **027-253-1832**  
FAX **027-253-1804**

**安中市 金融団**

群馬銀行 安中支店  
東和銀行 安中支店  
しのめ信用金庫 安中支店  
群馬県信用組合 安中支店

**(有)堀ビル**

代表取締役  
堀口 正孝

安中市安中 1-20-29

TEL **381-0538**  
FAX **381-4048**

医療法人 信愛会  
**本多病院**

院長 兼 理事長  
本多 真

安中市鷺宮 205-1

TEL **382-1255**  
FAX **382-7396**

**(有)半田商会**

代表取締役  
半田 岳

安中市原市 1-13-18

TEL **385-4570**  
FAX **385-4700**

**萩原建設(株)**

代表取締役  
萩原 永史

安中市下秋間 654

TEL **381-2850**  
FAX **382-6411**

# 群馬県ユネスコ連絡協議会研修視察 IN 安中

## —アプトの道ウォーキング大会—

安中碓氷ユネスコ協会  
副会長 小林 克行

令和7年6月1日、絶好のウォーキング日和のもと、松井田町坂本の峠の湯発着で、群馬県ユネスコ連絡協議会研修視察 IN 安中「アプトの道ウォーキング大会」を開催しました。



日本ユネスコ協会連盟は、100年後の子どもたちに地域の有形・無形の文化や自然遺産を伝えるため「未来遺産運動」を推進しています。

この研修視察は、碓氷峠鉄道施設群の価値を伝え、郷土の貴重な遺産の保護・保全のあり方を探り、県内各ユネスコ協会の活動の更なる活性化を図るとともに、県内会員相互の親睦を深めることを目的とし開催しました。参加者は県内ユネスコ協会会員40名その他、鉄道愛好者などを含め約300名でした。

来賓に安中市長様、県議員様等を迎え、安中総合学園高校生による和太鼓演奏のアトラクションに続き、NPO法人碓氷峠歴史文化遺産研究会理事長の萩原豊彦氏を講師に迎え、峠の湯から熊ノ平駅までのアプトの道を歩き、鉄道施設を視察しながら、実際にどのように使用されていたか等について学びました。

途中、上原梅弦氏の津軽三味線演奏を披露したり、めがね橋上でシャボン玉を飛ばしたりし、参加者に楽しんでいただきました。事業の目的である、碓氷峠鉄道施設群の価値を伝え、郷土の貴重な遺産の保護・保全のあり方を探り、県内各ユネスコ協会の活動の更なる活性化を図るとともに、県内会員相互の親睦を深めることができました。また、研修視察終了後、峠の湯(温泉とレストラン)で疲れた体を癒やしていただきました。



録を目指して令和6年4月有識者会議を発足しました。松井田中における総合学習「ふるさと松井田再発見」でのアプトの道や碓氷第

三橋梁(めがね橋)、丸山変電所等の碓氷峠鉄道施設群に関する学びは、日本ユネスコ協会連盟の「未来遺産運動」、事業目的「地域

の有形・無形の文化や自然を100年後の子どもたちにつなぎ、伝える。」に合致するものです。これら松井田中の取組が安中市の推進する、

碓氷峠鉄道施設群世界文化遺産登録に向けた活動に拍車をかけてくれることとご期待申し上げます。

(株)グリーンマート  
かわしま

代表取締役社長  
川島 博

安中市板鼻 2-4-25

TEL **381-1244**  
FAX **382-6741**

医療法人・裕心会  
いわい中央クリニック

理事長  
神保 裕之

安中市岩井2465-1

TEL **381-2201**  
FAX **381-2202**

飯島自動車整備工場

代表  
飯島 岳史

安中市磯部1636-1

TEL **381-2972**  
FAX **381-1119**

医療法人・天竜堂  
藤巻 医院

院長 兼 理事長  
藤巻 康喜

安中市松井田町松井田556

TEL **393-1324**  
FAX **393-1365**



# ユネスコへの理解を求めて

## — 安中市商工会女性部研修会 —

安中碓氷ユネスコ協会 副会長 矢野 篤



令和7年7月29日、安中市商工会女性部の皆さんにユネスコについてご理解いただきたいと、テーマ「人の心の中に平和のとりでを築くために」、サブテーマ「安中碓氷ユネスコ協会の実践」とし研修会を開催しました。矢野 篤会長の挨拶に続いて、田村利幸事務局がおよそ80分に亘ってプレゼンテーションを行いました。



【概要】 ユネスコ（UNESCO）とは、国際連合の専門機関である教育科学文化機関のことです。1945年、第2次世界大戦のような悲惨な戦争を二度と起こさないためにユネスコ憲章が採択されました。そして、日本初の図書館「便覧舎」を創設した湯浅治郎氏の5男、湯浅八郎先生が終戦の翌年1946年、ユネスコを日本に紹介しました。湯浅八郎先生は昭和51年3月の安中碓氷ユネスコ協会の設立総会で「平和へのハイウェイ」と題して記念講演をしました。今回は、その肉声が録音されたテープ（一部）をお聞きいただき「日本のユネスコ加盟の経緯」をご理解いただくと共に、ユネスコの理念「人の心の中に平和のとりでを築く」の実現に向けて、①当協会設立の経緯と変遷、②現在の活動、③ユネスコとは、④ユネスコ設立と日本の加盟、⑤ユネスコの理念、等について紹介しました。



参加者の皆さんには最後まで熱心に聴講していただきました。そして、安中市にゆかりある湯浅八郎先生がユネスコ運動を日本に紹介したこと。各地でユネスコ運動が草の根的に広まり日本がユネスコに加盟したこと。また、ユネスコ運動の広まりから当協会の設立に至ったこと。ユネスコの理念「人の心の中に平和のとりでを築く」の実現に向けた当協会の活動目的が設立50周年を迎えようとする現在でも、一貫して変わらないこと等をご理解いただきました。

貴重な研修時間を割いていただくと共に、40度近い酷暑

にも関わらずご参集くださいました商工会女性部の皆様に心より御礼申し上げます。

<p><b>松岡司法書士事務所</b></p> <p>代表 松岡 将之</p> <p>安中市安中 2313-1 TEL <b>388-8507</b> FAX <b>388-8508</b></p>	<p>医療法人 星美会 <b>星澤歯科医院</b></p> <p>院長 日下部 有</p> <p>安中市原市 3-4-52 TEL <b>385-1051</b> FAX <b>385-6544</b></p>	<p><b>(株)平成オプトロニクス</b></p> <p>専務取締役 小板橋 桂</p> <p>安中市郷原 2748-1 TEL <b>385-0118</b> FAX <b>385-0406</b></p>	<p><b>古賀アルミ工業(株)</b></p> <p>専務取締役 古賀 直樹</p> <p>安中市鷺宮 3685 TEL <b>381-1612</b> FAX <b>382-6798</b></p>
---	---	---	---

<p><b>もてき内科医院</b></p> <p>名誉院長 茂木 正毅</p> <p>安中市原市 4-3-15 TEL <b>382-2510(代)</b> FAX <b>382-2817</b></p>	<p><b>東邦亜鉛(株)</b></p> <p>安中製錬所所長 高橋 康司</p> <p>安中市中宿 1443 TEL <b>382-1551</b> FAX <b>382-4402</b></p>	<p>美と建築 <b>三好設計事務所</b></p> <p>設計士 三好 建正</p> <p>安中市郷原 86-3 TEL <b>385-6136</b> FAX <b>385-0534</b></p>	<p><b>(株)クオーレ</b></p> <p>代表取締役社長 三澤 俊之</p> <p>安中市安中 811 TEL <b>382-9000</b> FAX <b>381-3308</b></p>
--	--	---	---

# ユネスコスクールとしての取組 生徒の「知りたい」が地域を動かす

## — 松井田中学校の「発育応援給食」が実現 —

安中市立松井田中学校 校長 大塚 康史

本校は、昨年度末にユネスコスクールとして正式に認定されました。この認定は、学校にとって新たな看板が加わったというだけではありません。むしろ、これまで地域に根ざして長年実践してきた独自の教育活動が、国際的な理念と深く共鳴するものであることが認められた証と言えます。

松井田中学校では、かねてより「ふるさと恩返しプロジェクト」や「ふるさと松井田再発見」といった探究活動、人権教育、地域の文化財学習などを通じて、生徒が自らの足元にある課題や魅力と向き合う学びを推進してきました。これらの活動が、ユネスコの掲げる「平和」「思いやり」「地球」「命」「ふるさと」といった理念と軌を一にするものであると高く評価されたのです。

また、旧松井田北中学校がユネスコスクールであったという歴史的背景も、地域全体にユネスコ活動への深い理解と期待が根づく土壌となっており、今回の認定を力強く後押ししました。

この新たな一歩を踏み出した松井田中学校では、ユネスコスクールの理念のもと、生徒たちが早速主体的で探究的な活動を力強く展開しています。今回は、その象徴的な事例として、SDGs目標3「すべての人に健康と福祉を」に関連し、保健委員会の生徒たちが中心となって取り組んだ「発育応援給食」の実現に至るまでの軌跡を紹介いたします。

### ◆きっかけは生徒の「身長を伸ばしたい」

発端は、春に実施した全校アンケートでした。多くの生徒が「身長を伸ばすにはどうしたらよいか知りたい」と回答したのです。その素朴な声を受け止めた養護教諭は、「成長には遺伝や睡眠、運動など多くの要素が関わりますが、その中で自分の努力で変えられる最も身近なものは「食生活」です」



と伝えました。

この言葉をきっかけに、保健委員会は「発育の可能性を最大限に引き出す食生活の工夫」を年間テーマに設定。自分たちの疑問を原動力に、学びを深めていく探究活動が始まりました。

### ◆専門家から学ぶ「食えることは体をつくること」

5月には松井田給食センターの栄養教諭を講師に招き、発育期に必要な栄養素や、食事バランスの大切さについて学びました。生徒たちはタブレットを活用して、自分の食生活を一週間振り返り、

栄養の偏りを分析。「カルシウムや鉄分が大切なのは知っていたけれど、意識して摂っていなかった」「休みの日はコンビニ食が多い」といった気づきを共有しました。

学びを通じて、「食えることは、自分の体をつくること」という当たり前のようで見落としがちな食育の本質を、生徒たちは改めて実感しました。

### ◆高校生とのランチミーティングで広がる学び

7月14日、本校に安中総合学園高校の生徒6名を招き、

保健委員13名と「ランチミーティング」を開催しました。給食を囲みながら、食や健康に関する取組について語り合うこの会は、世代を超えた学びの場となりました。

高校生からは「部活動後にタンパク質を意識して摂るようにしている」「朝食を抜くと集中力が続かない」といった、実生活に根ざした意見が次々と出されました。

中学生たちは真剣な表情で聞き入り、質問を重ね、「高校生の話を聞いて、食を意識することの大切さを実感した」「自分の体をつくるのは自分自身だと気付いた」と感想を語りました。

<p><b>やきとり ひろしの店</b></p> <p>代表 大山 浩</p> <p>高崎市通町 143-6</p> <p>TEL <b>027-321-4811</b> FAX <b>027-321-4811</b></p>	<p><b>(株)アイ・エス・オー</b></p> <p>代表取締役 小日向 和博</p> <p>高崎市中居町4-22-9 LSビル203</p> <p>TEL <b>027-386-2600</b> FAX <b>027-386-2601</b></p>	<p><b>(有) ミヤビ</b></p> <p>代表取締役 中山 雅之</p> <p>安中市松井田町人見 1123-2</p> <p>TEL <b>393-5586</b> FAX <b>393-5574</b></p>	<p><b>(有)アーニング</b></p> <p>代表取締役 中島 光昭</p> <p>高崎市中豊岡町 288-4</p> <p>TEL <b>324-4919</b> FAX <b>322-8688</b></p>
---	--	---	---

こうした交流は、学校の枠を超えて地域の教育力を結び合わせる貴重な機会にもなりました。

◆理想の献立を形に “発育応援給食” が誕生

学びをもとに、生徒たちは7月以降、「理想の給食献立づくり」に挑戦しました。テーマはあくまで「発育応援」。1年生は和食、2年生は洋食、3年生は中華と分かれ、それぞれが栄養バランスと実現性を考えながらメニューを提案しました。

しかし、現実には調理工程やコストの制約があり、思い描いた献立をそのまま給食にすることはできません。そこで、生徒たちは養護教諭や給食センターの栄養教諭と何度も打合せを重ね、食材や調理法を工夫しながら、実現可能な献立へと練り上げていきました。

そして10月14日(火)、15日(水)、17日(金)の3日間、いよいよ生徒考案の“発育応援給食”が実際に提供されました。

メニューには、「カルシウムありすぎサラダ」「ミート鉄スパゲッティ」「のびざかりちゃんぽんスープ」など、ユーモアと創意に満ちた名前が並びました。給食時間、生徒たちは自分たち

の献立を味わいながら「本当に実現できたのがうれしい」「小学生にも食べてもらえたのが誇らしい」と笑顔を見せていました。この取組は松井田小、西横野小、安中小にも広がり、給食を通じて地域全体が一つにつながる瞬間となりました。

◆企業と連携した新たな挑戦へ

この活動は給食の実現で終わりませんでした。学びを更に発展させ、市内企業の協力の下「発育応援ふりかけ」の開発にも挑戦しています。成長期の子供たちはもちろん、高齢者にとっても必要な栄

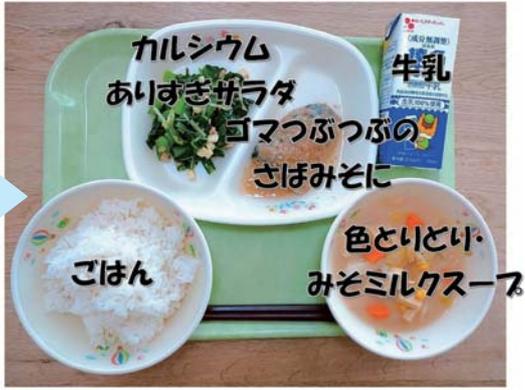
養素を含む製品として、世代を超えて健康づくりに貢献できるように工夫を重ねています。

商品化までは課題も多くありますが、生徒たちは主体性を発揮し、「地域の人たちに喜ばれるものを作りたい」と意欲を見せています。

◆学びの成果を未来へつなぐ

一連の活動を通じて、生徒たちには確かな変化が見られました。「家でも栄養バランスを考えるようになった」「間食のとり方を工夫するようになった」など、日常生活の中で行動変容が起きています。養護教諭は、「自分たちのアイ

チーム1年



チーム2年



チーム3年



デアが地域の人々の協力を得て形になった経験は、生徒にとってかけがえのない学びになった」と語ります。今後、本校ではこの取組を一過性のものとせず、地元産食材を生かした「地産地消メニュー」の開発や、家庭科・理科など他教科との連携を更に進めていく予定です。また、安中総合学園高校や給食センターとの連携を継続し、地域全体で子供と高齢者の健康を支える仕組みづくりを目指します。

<p><b>(有)ファーストシーリング</b></p> <p>代表取締役 櫻井 正 晴</p> <p>安中市古屋 325 TEL <b>388-8211</b> FAX <b>388-8212</b></p>	<p>カーエアコン・バッテリー・電装品専門店 <b>安中群馬電装(有)</b></p> <p>代表取締役 櫻井 誠</p> <p>安中市安中 4-11-41 TEL <b>381-1552</b> FAX <b>381-1558</b></p>	<p><b>日本マスチック工業(株)</b></p> <p>代表取締役 坂 上 順 一</p> <p>高崎市緑町 1-3-4 TEL <b>362-6821</b> FAX <b>384-3041</b></p>	<p><b>安中法律事務所</b></p> <p>所 長 小 坂 景 子</p> <p>安中市岩井 2470-3 TEL <b>386-6667</b> FAX <b>393-6667</b></p>
--	--	--	--



# ユネスコ シンポジウム IN安中2025

— 平和の実現に向けて —

安中碓氷ユネスコ協会 事務局長 小日向 和 博



9月13日、安中市役所松井田庁舎で、市内の中高生の心の中に平和のとりでを築くことを目的に、テーマ「真の平和とは何か?」ウクライナ避難民から学ぶこととし、ユネスコシンポジウムIN安中2025を開催しました。市内高等学校(新島学園は中高)の生徒会役員、インターアクト部員、JRC部員、国際交流協会会員等約70名の参加で開催しました。群馬大学ウクライナ留学生マリ

ア氏によるウクライナ軍事侵攻のプレゼンテーションを聴き、真の平和について考えることで、若者の心の中に平和のとりでを築くことを目指しました。群馬大学の協力を得てウクライナの軍事侵攻の実態を理解すると共に、募金活動によりウクライナ避難民の生活を少しでも支援したいと始めたこのシンポジウムは今回で3年目となりますが、マリア氏のプレゼンテーションは全てリニューアルされ、最新の情報を得ることが出来ました。発表に続き、ロシアによるウクライナ軍事侵攻について、参加者が分かったこと、新たな発見等を発表していただきました。あまりの悲惨さ、惨たらしさ、ロシアの非人道的なやり方に多くに生徒たちがショックを受

けました。私は今回、マリアさんからお話を聴き、ウクライナの現状がいかに悲惨であるかを改めて知り学ぶことができました。私は一昨年、昨年と続き3回目の参加ですが、今でも、リヴィウの発電所や鉄道の線路が壊されてしまうといった話を覚えています。現在、日本のメディアでのロシア軍事侵攻の報道は減少し、ウクライナの現状について分からないことばかりのため、マリアさんの生の声を聴き、多くの学びを得ることができました。何度もお話されている子どもたちの強制送還はやはり聞くたびに心苦しくなり、カタログのようにサイトに掲載され人身売買と同じようなことが起こっていること、

続いて、「真の平和とは何か?」について考えました。今、私も日本の若者が置かれた環境と、ウクライナのティーンエイジャーの置かれた悲惨な環境に自らを置き換えて考えました。最後に矢野会長からウクライナ留学生に、募金を贈呈し、岩井安中市長から、ウクライナ留学生へ激励の言葉を賜りました。次に参加者に書いていただいたメッセージを紹介いたします。

新島学園高等学校  
2年 清水華優

<p><b>(有)セキネ開発</b></p> <p>代表取締役社長 関根俊夫</p> <p>安中市磯部 3-7-25 TEL <b>385-0677</b> FAX <b>385-0678</b></p>	<p><b>(株)佐藤建設工業</b></p> <p>代表取締役 佐藤宗孝</p> <p>高崎市八幡町710-1 TEL <b>027-395-0007</b> FAX <b>027-395-0006</b></p>	<p><b>さるや内科医院</b></p> <p>院長 猿谷忠弘</p> <p>安中市松井田町人見 1104-1 TEL <b>384-3681</b> FAX <b>384-3682</b></p>	<p><b>(有)ミキハウス</b></p> <p>代表取締役 櫻井雅寿</p> <p>安中市原市 566-2 TEL <b>381-1749</b> FAX <b>388-1140</b></p>
--	--	--	---

そしてその悲惨さ、人権を踏みに  
 じるような行動、それら全てが絶  
 対にあつてはならないことだと、  
 改めて感じました。他にもウクラ  
 イナ人の兵隊さんが千人ほど解放  
 されましたが、大勢がやせ細り、  
 正気を失い、その実態は、拷問を  
 受けたことや子どもを含めた多く  
 の市民が、今でもロシアの攻撃に  
 怯え苦しんでいることを聴き、胸  
 が締め付けられ平和への道はほど  
 遠いと感じました。私は真の平和  
 を実現するためにも今回のお話を  
 聴き感じたことや学んだことを共  
 有すると共に、この現状を変える  
 ため私たちに何ができるかを考え  
 ていくことが大切だと思いました。  
 今回この悲惨な現状を伝えてくだ  
 されたマリアさんに感謝を伝え、  
 ウクライナの皆さんに一刻も早く  
 平和が訪れることを願います。今  
 日は貴重な体験をさせてくださり、  
 ありがとうございます。

**新島学園高等学校**  
 2年 吉田 新

私は、今回のユネスコシンポジ  
 ウムを通じて、ウクライナの現状  
 やロシアの悲惨な行為を知り、真  
 の平和について深く考えさせられ  
 ました。発表を通して印象に残っ  
 たのはロシアの悲惨な行為です。  
 ロシアは、捕虜に対して拷問を与



ライナとロシアの戦争は、世界全  
 体の問題であると改めて実感しま  
 した。現在ロシアのウクライナ攻  
 撃は、夜間の攻撃や政府の建物へ  
 の攻撃など、より激化しているよ  
 うに感じています。私は、このこ  
 とから、一刻も早くウクライナと  
 ロシアの和平交渉を成功させる必  
 要があると感じました。私は、真  
 の平和とは、日々の生活を安全に  
 暮らし、それが続いていくこと、  
 平和について日頃から考える意識  
 を持つことだと感じました。

**新島学園高等学校**  
 1年 小池 颯太

え、ウクライナへ返還された兵士  
 の方は衰弱しており、いかにロシ  
 アの拷問が悲惨なものであったか  
 思い知らされました。また、ロシ  
 アはウクライナの子どもたちを連  
 れ去り、ロシアの家庭へ強制的に  
 養子縁組をさせ、その子供たちを  
 カタログのように載せているサイ  
 トが開かれていることや、民間人  
 への攻撃を繰り返していることか  
 ら、ロシアの人権を無視した行動  
 が国際的なテロ犯罪を助長・拡大  
 しているように感じました。また、  
 これらのロシアによる侵略を止め  
 るためには、国際的な安全保障や  
 力を持つ他の国からへの外的な圧  
 力が必要であることを知り、ウク

私は、今回のシンポジウムを通  
 して、改めて戦争は国家間におけ  
 る本当の最終手段であると感じま  
 した。国家間の争いというのは、  
 武力手段だけでなく、経済的、政  
 治的に常日頃起こっているもので  
 す。一般的に戦争を起こすのは独  
 裁者です。しかし、ほぼすべての  
 独裁者は、民衆を愛おし、その後、  
 民衆の心をつかみ、国に元からあ  
 る民主的な方法で政権を取り、一  
 党独裁へと国を動かし、全権限を  
 とることで戦争へと導きます。こ  
 のとき、民衆は、既に心をつかま  
 れているので疑問を抱くことはあ  
 りません。あなた方は「このよう  
 なことになるはずがない」と思う

<p><b>モスバーガー</b>          安中バイパス店          代表取締役社長          須永 誠          安中市安中 2-16-33          TEL <b>381-4269</b>          FAX <b>381-4266</b></p>	<p><b>(株) 創 商</b>          代表取締役社長          杉田 穎 紀          高崎市八島町117          TEL <b>027-322-1611</b>          FAX <b>027-322-4483</b></p>	<p><b>(有)山田タイル工業</b>          代表取締役          白石 文 也          安中市高別当 727-2          TEL <b>381-0075</b>          FAX <b>381-0065</b></p>	<p><b>(有)イ シ ノ</b>          取締役          嶋田 有美子          安中市下磯部 253-1          TEL <b>395-0419</b></p>
---	---	---	--

<p><b>ホテル磯部ガーデン</b>          (舌切雀のお宿)          社 長          櫻井 太 作          安中市磯部 1-12-5          TEL <b>385-0085(代)</b>          FAX <b>385-0055</b></p>	<p>医療法人社団  <b>田口 医院</b>          理事長          田口 晴 也          安中市松井田町松井田 372          TEL <b>393-1731</b>          FAX <b>393-1731</b></p>	<p>医療法人 誠和会  <b>正田 病院</b>          理事長          熊野 秀 俊          安中市安中 1-16-32          TEL <b>382-1123</b>          FAX <b>382-5316</b></p>	<p>医療法人 済恵会  <b>須藤 病院</b>          理事長          須藤 英 仁          安中市安中 3532-5          TEL <b>382-3131(代)</b>          FAX <b>382-6568</b></p>
---	--	---	---



かもしれませんが、今までにそのような国は五万とありました。このような国と話し合いで解決できればそれでいいのですが基本的には、応じてくれません。この時に出てくる最終の手段が戦争です。戦争になると命は軽くなり、心は荒れ、国際条約に違反する様な事になるようにもなってしまう。このようなことにならないために独裁者が生まれないようにすることが大事になってきます。そのためには、一人一人に平和の心を植え付ける必要があります。達成にはとても時間がかかることが明白ですが、地道な行動こそが確実に達成できる唯一の方法だと思います。

**新島学園中学校インターアクト部  
3年 田中優衣**

す。一人一人が意識せずとも平和へと動けることこそが真の平和であると感じました。

今回のお話を聞いて、まず最初に思ったことは「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻はまだ続いていたのか」ということでした。日本のメディアはウクライナとロシアの戦争についての情報を、少し前と比べるとほとんど発信しなくなり、私は詳しいお話を聴く前から、ロシアの攻撃はまだ続いていることとても驚きました。お話では、2025年の今年でも、4月や9月にロシアによる攻撃があり、多数の人や幼い子どもの犠牲がでたり、子どもたちが強制送還され、個人情報や名前などがカテゴリーに並べられ、商品のように扱われることが続いていたたり、お話を聴く前の私が思っていたよりも、ロシアの軍事侵攻はあまりに悲惨で、悲しいことであるかというのを改めて深く理解することが出来ました。以前よりも時間が経過し、日本では、ウクライナで行われていることの恐ろしさをテレビニュースや新聞などでのメディアは全く伝えなくなりました。なので、今日、貴重なお話を聴き、



**新島学園高等学校  
1年 倉田優菜**

ウクライナは今でもロシアによる軍事侵攻が行われていることを知った私は、SNSを活用してウクライナについての情報を発信したり友達や家族に今日の事を話して、戦争の恐ろしさを伝えたりなど、多くの人が戦争の実態を知ることができるように行動するべきだと思います。今日は貴重なお話を、ありがとうございました。

私は今回のマリアさんの話を聴き、ウクライナではまだ戦争は続いていて、沢山の人が傷つき、悲しい思いをしているということを知

<p><b>(株)荻野屋</b> 代表取締役副社長 高見澤 佑周 安中市松井田町横川399 TEL <b>395-2311</b> FAX <b>395-3035</b></p>	<p><b>(株)高橋工業</b> 代表取締役 高橋 豊 安中市郷原 2385-3 TEL <b>385-8067</b> FAX <b>385-3230</b></p>	<p>公益財団法人 群馬慈恵会 <b>松井田病院</b> 院長 高橋 哲史 安中市松井田町新堀 1300-1 TEL <b>393-1301</b> FAX <b>393-5421</b></p>	<p><b>(有)タカハシファーム</b> 代表取締役 高橋 正明 安中市松井田町人見 1885 TEL <b>393-1792</b> FAX <b>393-0497</b></p>
---	---	--	--

<p><b>矢野登記測量事務所</b> 所長 矢野 薫 安中市安中 2-4-13 TEL <b>381-1808</b> FAX <b>381-1423</b></p>	<p><b>やじま歯科クリニック</b> 院長 矢島 勲 安中市安中 3545-14 TEL <b>381-4618</b> FAX <b>381-4646</b></p>	<p><b>田村製菓(有)</b> 代表取締役社長 田村 光三 安中市郷原255-2 TEL <b>385-6120</b> FAX <b>385-3275</b></p>	<p><b>(株)ボルテックスセイゲン</b> (貨物自動車運送) 代表取締役社長 武井 宏 安中市原市432 TEL <b>382-3333</b> FAX <b>382-4792</b></p>
--	--	--	---

決して忘れてはいけないと思いました。現在、私たちがテレビなどのメディアやSNSでは、ロシアによる軍事侵攻が報道されるのを目にするのは全くとっていいほどありません。しかし、実際には未だにミサイルによる砲撃などで沢山の人が被害を受けています。今年の7月にもキーウは攻撃を受け、159人の負傷者、そして31人の人が亡くなりました。他にも、ロシアの軍事侵攻による大きな課題はウクライナの子どもたちの強制送還です。マリアさんから沢山の個人情報がかたログのように扱われ、子どもたちは拒否権もなく強制的に養子を組まされているという話を聞いて、ショックを受けました。一人一人生きていて、誰かにとっつけかけがえのない存在であるはずの子どもたちが人権を奪われ奴隷のように売買されていることを知り、改めて戦争の悲惨さを突き付けられたように思います。今回のシンポジウムのテーマである真の平和とは、一刻も早くロシアの軍事侵攻を止め、ウクライナの人達が大切な人と笑い合える普通の生活を取り戻すことだと考えます。また、戦争が起こることがなく安全が保障された世界を、これからの私たちが作っていくべきだと思います。そのためには、今



回の講演で聞いたウクライナの戦争の悲惨さを世の中に発信し、平和への責任をより意識していくべきだと考えます。

**安中総合学園高等学校**

1年 赤岩 倅 希

真の平和とは何か？私が思った事は、戦争がなくなることだけでなく、人々がご飯を食べられ、大人や子どもも遊べ、仕事で働き、家族や友達が楽しんだり、悲しんだり、笑ったり、怒ったりする平穏な暮らしができることが真の平和だと思いました。ロシアの攻撃

で人々は亡くなり、子どもは連れ去られ、捕虜たちが帰ってきて衰弱しており、人々が生きていくことが困難で二度とあつてはならない。こういうことがないことも真の平和になると思います。また、真の平和になるために、今回の講演のように、各地で世界に向けて発信していかなくてはならないと思いました。私が出来たことは、家や友達などに発信していくことです。今回は、ユネスコシンポジウムIN安中2025に参加させていただき、講演をしてくださったマリアさんや主催者の方にお礼を申し上げます。ありがとうございます。

**安中総合学園高等学校**

1年 花形 義彦

今回のユネスコシンポジウムで、ウクライナ軍事侵攻の話をお聴きしても驚きました。現在のウクライナでは、ロシアからの砲撃や攻撃により町の人々や軍の人も生活が一変していることを知り、戦争は物理的な破壊だけでなく、人々の心や体も壊しているのだと思いました。ウクライナの子どもたちが人身売買されていることや捕虜になつて酷いことをされ帰還するこ

ろには衰弱していることを知りこのようなことは二度とあつてはならないと考えました。だから真の平和とは戦争がなくなるだけでなく、人々が幸せにご飯を食べることができ、色々なことが楽しめることなのだと考えました。そして、今回の講演のようにSNSなどを使い、このことを発信していきたいと思いました。今回はこのような素晴らしいシンポジウムを開催してくださった方々にお礼を申し上げます。ありがとうございます。

**安中総合学園高等学校**

2年 山田 詩歩 希

今日マリアさんのお話を聴き、ロシアによる軍事侵攻は非常に悲惨であることが分かりました。例えば、4月4日に起こったクリヴィー・リーフイ攻撃、7月31日、8月28日に起こったキーウへのミサイル攻撃、9月9日に起こったドネツィクへの砲撃など数えきれないほど多くの死亡者や負傷者がいて中には小さな子どももいることを知り、子どもが好きな私にはとても心が痛みました。さらに200人近くの子どもたちがロシアに連れ去られてしまい、ロシアのサイトにその子供の特徴や個人情報などが載せられロシアの人たちに売られ、

<p><b>(株) Liv art</b></p> <p>代表 前島 正樹</p> <p>安中市安中 4015-2 TEL <b>381-5703</b> FAX <b>381-5704</b></p>	<p><b>(株) ボルテックス アーク</b></p> <p>安中市下磯部 987-1 TEL <b>381-1919</b> FAX <b>381-1914</b></p>	<p><b>信越化学工業(株)</b> 群馬事業所</p> <p>事業所長 武藤 清之</p> <p>安中市磯部 2-13-1 TEL <b>385-2120</b> FAX <b>385-2750</b></p>	<p><b>第一生命保険(株)</b> 安中営業オフィス</p> <p>オフィス長 大谷 栄義</p> <p>安中市高別当 351-1 TEL <b>050-3782-1116</b> FAX <b>027-381-0239</b></p>
---	--	---	--

人身売買が行われていることを初めて知り、とても悪質であり許されることではないと思いました。どうしてロシアがウクライナに長い間攻撃しているのか意味が分かりません。最近では、テレビでもあまり見ないので、今どうなっているのか、あまり知らなかったのもっとたくさんの人に知ってもらうために放送するべきだと思えます。マリアさんに今回の話を聴かせていただきありがとうございます。事の重大さを改めて理解できました。

**安中総合学園高等学校 3年  
生徒会副会長 浅香 優愛**

私は、今回初めてユネスコシンポジウムに参加させていただきました。ウクライナについてニュースなどで少し耳にしたり目にしたりしていました。しかし、ここまですべて被害が大きく、死者や負傷者が多いとは思っていませんでした。授かった命は戦争中、そして亡くなった時も戦争中といったとても辛い生活を送ってきたことが分かりました。一つの大切な命をロシアの人々は軽く扱いカテゴリー化し、子どもたちの特徴や個人情報などを記録し、人身売買していることが分かりました。私は生んでくれた母親と生活しているのに対し、

売買された子どもが知らない人たちと生活していることが分かりました。戦争から生きて帰ってきても衰弱しきって帰ってくるのが分かりました。ここまで残酷で悲惨であると思っていなかったのが心が痛みました。

安中総合学園では、過去に石川県への地震災害募金、ウクライナ支援募金を行ってきましたが、まだまだであることが分かりました。募金活動を行い、困っている方々に届いて、少しでも支援できたいればよいと思います。周りの人にも伝えていきたいと思っています。



**松井田高等学校  
2年 佐藤 風音**

今回ウクライナであった戦争についての発表を聞いて、ロシアからのミサイル攻撃で大人だけでなく、子どももなくなっていることを考えると今ある平和な生活が当たり前ではないかもしれない。そんな風に思います。ウクライナは各国にこの悲惨な状況を説明して回っている。このユネスコ協会の活動を本当に大切なことだと思えます。これからの進路に強く影響する方もいると思います。真の平和とは、みんなが手を取り合っ

て戦争もしない。考えもしないような温かい国を世界中で作っていくことが大切だと思いました。戦争とは他国の土地が欲しいということですね？それって泥棒と同じことだと思いません。絶対にしてはいけません。帰還後精神や十分な食料が無くて衰弱するそうです。戦争ってなぜ始まるのでしょうか？考えられません。始まれば殺した分だけ褒められる。いつもなら絶対にやっではないけないことなのに現状、ウクライナは2024年の9月と2025年の9月では、戦争の状況が大きく違うと聞

**松井田高等学校  
2年 小池孝太郎**

きました。このようなことにならないように日々平和を意識して生活をしていこうと強く思いました。今回のユネスコシンポジウムに参加させていただいてありがとうございます。

今回のお話を聞いて、ウクライナの現状、戦争の悲惨さについて知ることができました。ウクライナでは、現在でも町にミサイルや銃弾が飛んでいて、この戦争に終わりが見えないことが分かりました。もし、自分の住んでいる町、そして日本でこんなことが起きたらと考えると不安になります。だからこそウクライナとロシアの戦争について他人事にせず、真剣に考えなければならぬと思います。今、自分が安全に暮らしていることに感謝し、この安全を守っていかねければならない。平和への第一歩は武力でなく話し合いで解決することだと思えます。そして戦争・暴力を許さず戦争している国を批判することも必要だと思えます。平和を守るためには、相手のことを思いやることも大切です。考え方や言葉が違っても相手の事を思い尊重することは誰でもできることです。今ある当たり前の日

<p><b>櫻造園(株)</b> 代表取締役 櫻井 幹 男 安中市安中 1819 TEL <b>381-0144</b> FAX <b>382-5210</b></p>	<p><b>(株)ミウラ</b> 代表取締役 三浦 雄 人 安中市嶺 1467 TEL <b>385-6507</b> FAX <b>385-9958</b></p>	<p><b>(宗)久昌寺</b> 久保 直 彦 安中市原市 2989 TEL <b>385-7851</b> FAX <b>386-5658</b></p>	<p><b>(株)ヒューマン サポート</b> 安中市下磯部 1006 TEL <b>381-4661</b> FAX <b>381-2423</b></p>
--	---	--	---



安中国際交流協会 中嶋百合子

生活が脅かされているという現実を想像することが、日本に生まれて生活しているとなかなかできません。それほど戦争というのは非現実的なことだと思えます。真の平和とは、・・・生活が脅かされず、毎日同じことを繰り返される事。明日に希望を持って生活できることだと思えます。いつミサ

常を守るために自分にできることに一つずつ取組んでいきたい。そして真の平和について追求していきたい。そうすれば、誰も傷つけないことがない明るい世界がやってくると思う。本日は貴重なお話を聴かせていただきありがとうございます。

国際交流協会 本山久美子

真の平和とは、大切な人の生命が守られている社会が存在することだと思えます。人の生命、財産を奪うということは殺人であり犯罪です。今のウクライナに対するロシアの行為は正に犯罪であり、国際社会が一致団結して非難し、止めなくてはなりません。

イルが飛んでくるか心配しているのでは、平和ではありません。「拷問」「人身売買」「住む場所がなくなる」これら戦争によって起こる悲惨な事は、だれの得にも、だれの幸せにもなりません。戦争がなくれば平和になります。マリアさん、貴重な発表をありがとうございました。

では、どのようにしたら悪を正せる国際社会になれるでしょうか。国連がもつと機能するようになることです。そのためには、一国の当主が正しい考え方を持っていることが必要です。それは、言い換えれば一国の当主を選ぶ私たち一人一人が社会の現状を知り、正しく選挙・投票を行うことが一歩だと思えます。ニュースで大切な人をなくし悲嘆にくれる人々と美しい街が瓦礫と化しているのをしっかり心に刻み戦争をなくす社会を



国際交流協会 小原加代子

来賓の挨拶にもありましたが、戦争は決して始めてはいけないうものであるという意識を若い方が強く持ち、自分としてできる行動を継続していくことが重要と考えています。

写真を見せていただき、亡くなった人の数が入った情報をまとめるのは大変つらいことだと拝察いたします。具体的な情報で本当に胸が痛みますが教えていただきありがとうございます。

構築できることを目指すことが大切だと思えます。

<p>情熱▶信頼▶感謝 <b>関東建設工業(株)</b> 代表取締役 中島直樹 安中市高別当 347-1 TEL <b>382-2711</b> http://www.kanto-corp.co.jp</p>	<p><b>柳生由幸 税理士事務所</b> 代表 柳生由幸 安中市安中 5-12-31 TEL <b>382-7312</b> FAX <b>382-7372</b></p>	<p><b>室橋歯科医院</b> 院長 室橋信好 安中市安中 3-13-7 TEL <b>381-0415</b> FAX <b>381-3543</b></p>	<p><b>咲前神社</b> 宮司 和田雅之 安中市鷺宮 3308 TEL <b>381-2726</b> FAX <b>381-4590</b></p>
--	---	---	---

<p>電気工事・土木工事設計施工 <b>HONDA</b> <b>高崎ホンダ電設(株)</b> 代表取締役 高橋悟 安中市大竹 74-7 TEL <b>382-3005</b> FAX <b>381-0457</b></p>	<p><b>矢野接骨院</b> 院長 矢野篤 安中市磯部 4-11-28 TEL <b>385-4460</b> FAX <b>385-4460</b></p>	<p><b>(株)いずみや</b> グループホーム森の家 代表取締役 森泉光宏 安中市安中 1-10-17 TEL <b>381-0148</b> FAX <b>384-3003</b></p>	<p><b>(株)氷見鉄工所</b> 代表取締役 氷見国雄 安中市鷺宮寺原 2140 TEL <b>385-1548</b></p>
--	--	---	--

ユネスコスクールを支援することを目的に出店したあんな祭りと、商工祭りが10月12日、安中市役所周辺で盛大に開催されました。当協会は商工祭りエリアに出店しました。スーパーボールや台紙付当たりくじなどの子ども向けの玩具を販売し、収益でユネスコスクールを支援しました。

当協会役員が販売物品を検討し、子供たちに喜んでもらえるようにと悩んだ末、事前に仕入れ、値付



# ユネスコスクール支援活動

## あんな祭りと商工祭り

安中碓氷ユネスコ協会 理事 中島 徳造



け、抽選くじ等を準備し12日を迎えました。

あんな祭りと当日は、販売開始の10時には長蛇の列ができる大盛況となり、用意した品物は飛ぶように売れ、午後2時頃には完売となりました。

ユネスコスクール支援にご協力いただいた多くの市民の方にこの場をお借りして御礼申し上げます。この収益は、市内のユネスコスクールの活動を充実させるために、12月10日にユネスコスクールであ

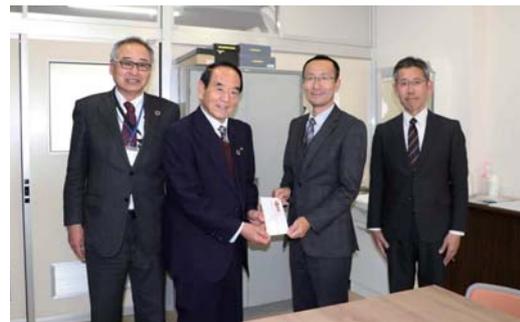


新島学園にて

る新島学園中学校高等学校(小栗仁志校長先生)、碓東小学校(木口敦子校長先生)、松井田中学校(大塚康史校長先生)へ矢野会長がお届けしました。



碓東小にて



松井田中にて

<p><b>杉山木材(株)</b></p> <p>安中市松井田町新井 693 TEL <b>393-0226</b> FAX <b>393-0256</b></p>	<p><b>いそべせんべい 大手製菓</b></p> <p>大手 貴博</p> <p>安中市磯部 1-6-9 TEL <b>385-6224</b> FAX <b>385-9370</b></p>	<p><b>(株)エス・コーポレーション</b></p> <p>代表取締役 吉村 宗則</p> <p>安中市安中 3830-1 TEL <b>380-5446</b> FAX <b>380-5447</b></p>	<p><b>(有)そりまち祭典</b></p> <p>セレモニーホールそりまち セレモニーホールゆうひ</p> <p>代表取締役 反町 一夫</p> <p>安中市上間仁田94-1 TEL <b>382-8880</b> FAX <b>382-8881</b></p>
--	--	---	---

<p>御食事と宴席 うなぎ・天ぷら</p> <p><b>高嶋屋</b></p> <p>高嶋 修</p> <p>安中市安中谷津 3-12-15 TEL <b>381-1616(代)</b> FAX <b>388-1618</b></p>	<p>スバルショップ安中 <b>光和自動車興業(有)</b></p> <p>代表取締役 叶 祥平</p> <p>安中市安中 3-19-31 TEL <b>382-1248</b> FAX <b>382-1919</b></p>	<p><b>カギセンター 安中</b></p> <p>安中市安中 5190-1 TEL <b>381-1169</b> FAX <b>384-3005</b></p>	<p><b>(有)屋敷治二 商店</b></p> <p>安中市原市 71 TEL <b>382-3434</b> FAX <b>382-5301</b></p>
---	---	---	--



# 2025年度 関東ブロック ユネスコ活動研究会 in 埼玉

安中碓氷ユネスコ協会 副会長 瀬山善郎



2025年度関東ブロックユネスコ活動研究会in埼玉が9月27日、深谷市民文化会館で開催されました。当協会は、矢野薫会長をはじめ、瀬山善郎、瀧田和則、櫻井幹雄、田村利幸の役員・事務局5名が参加しました。深谷市は日本の偉人である渋沢栄一翁の生誕地として知られています。午前中は渋沢栄一記念館を訪れ、渋沢栄一に関わる様々な展示物を見学しました。渋沢翁の偉大な業績は胸を打つものがありました。彼の精神は

ユネスコの理念とSDGsの目指すところにも相通じるものがあります。

開会行事に先立つオープニングイベントでは当地の伝統芸能である血洗島獅子舞が披露されました。渋沢翁も幼少期にはこの獅子舞に参加していたと伝えられています。研究会では、まず、「ふるさとを愛し、夢を持ち志高く生きる子どもたち」〜深谷市ふるさと教育のめざすもの〜と題して前深谷市



教育委員会教育長の小柳光春氏による基調講演が行われました。この講演で氏が一貫して訴えていたことは次のような事でした。○教育は、今日のためにあるのではなく未来のためにある。○ふるさとに誇りを持ち、自ら考えて行動できる子どもたちを育てることこそが教育の使命である。○体験を通じたふるさと教育を推

## 人々の心を豊かに！ 第23回福祉ふれあいまつり

安中碓氷ユネスコ協会 副会長 小林克行



進めることで、ふるさとを見つめなおし、愛着や誇りを抱けるようになる。これからの教育を考える上で私も大きな指針となる貴重な講演でした。閉会行事では、来年度は群馬大会を開催するので、群馬県の参加者全員が登壇し、開催テーマ等を掲げ、参加者へアピールし幕を閉じました。

秋色深まる11月8日、市内の社会福祉に貢献している団体が一堂に会し、子どもからお年寄り、障害を持つ人が一緒に集い触れ合う第23回福祉ふれあいまつりが安中市文化センターで開催されました。今年、会場を文化センターに変更し屋外でステージ部門の発表と模擬店部門、イベント部門が開催されました。

当協会は、模擬店部門のフランクフルト販売を、ボランティア連絡協議会の一員として担当しました。ボランティア連絡協議会では焼



ます。

また、社会福祉に貢献することは、持続可能な開発目標SDGsの取組みでもあります。このような心を持つことで、人々の心が豊かになり、思いやりの心が生まれ、いじめや差別がなくなり、人権尊重の精神や世界に平和が広がっていくと考えます。これは、まさにユネスコの精神と言えます。当協会も、福祉ふれあいまつりの運営に携われることで、微力ながらSDGsに向けた取組みの一端を担っているという信念のもと、今後も活動を続けていきたいと存じます。

# 令和7年度 ユネスコ活動写真展・市民展



— ユネスコ世界文化遺産登録を目指して —

安中碓氷ユネスコ協会 理事 石井 恒 利

## ユネスコ活動写真展

令和6年4月、安中市では、碓氷峠鉄道施設群世界文化遺産登録有識者会議を発足させました。これまで当安中碓氷ユネスコ協会では、碓氷峠鉄道施設群の世界遺産登録を目指す活動を一つの柱に据えて活動して参りました。今回の有識者会議の発足にあたり、世界遺産登録に拍車をかけたいと願い、今年の写真展のテーマを「碓氷峠鉄道施設群の世界遺産登録を目指して」とし、多くの方に当協会の取組を理解していただくことを目的に、ユネスコ活動写真展を開催しました。

ユネスコ世界遺産登録を実現するためには、碓氷峠鉄道施設群の「顕著で普遍的な価値」を安中市民が理解し、世界遺産登録に向けて市民の機運の高まりが必要と考ました。そして、当協会ができることは、碓氷峠鉄道施設群の価値を広く発信するとともに、市民の機運を高まりの一助になればと考ました。

令和7年は、2月21日から3月21日まで安中市役所1階ロビーで、4月18日から5月16日及び12月12日から1月23日まで松井田支所1階ロビーで「碓氷峠鉄道施設群の世界遺産登録を目指して」をテーマとし、ユネスコ活動写真展を開催しました。アプトの道ウォーキング大会、ウクライナ支援街頭募金、安中まつり・商工まつり、ユネスコシンポジウムIN安中2025、ユネスコスクール支援活動等の私どもの様々な活動を写真パネルで紹介しました。



市役所にて



松井田支所にて

文化センターにて



## 市民展

11月21日から23日までの3日間、安中市文化センターにて安中市市民展の一環としてユネスコ写真展を開催しました。期間中、ユネスコスクール支援のための募金活動を実施しました。多くの方のご来場と温かいご支援に心より感謝申し上げます。

ユネスコ新聞の配布にあたり、安中市内の各区長さんには大変なご苦勞をおかけします。本当に有難うございます。

### (株)ダイワプリント

代表取締役  
武藤 康敏

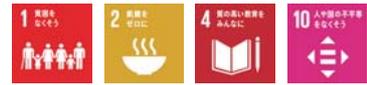
高崎市小八木町 2030-7  
TEL **027-362-1387**  
FAX **027-362-1362**

### ろしなん亭

代表  
清水 角栄

安中市安中 2341-1  
TEL **382-8681**  
FAX **382-8680**

# 世界↑寺子屋↓運動



## ～書きそんじハガキキャンペーン2026～

安中碓氷ユネスコ協会 事務局 田村利幸

### ユネスコ 世界寺子屋 運動とは

世界には、戦争や紛争、貧困、差別、コロナ禍など様々な原因で学びの場を失われた人々があります。ユネスコ世界寺子屋運動は、はがきや切手などを募金に変え、こうした国・地域での学びの場を広げていく運動です。現在はアフガニスタン、ネパール、カンボジア、ミャンマーの4カ国で、人々が明日を生きる力を育てています。

### 昨年度の 成果報告

昨年度、安中市では多くの皆様にご協力いただき、81,575円分の書きそんじハガキが集まり日本ユネスコ協会連盟に送付しました。連盟では、全国から3,389万円分の募金相当が集まり、その結果、カンボジア、ネパールなどで、識字、小学校復学支援および職業訓練を実施しました。しかし、現在もなお、コロナ禍で公教育からドロップアウトした子どもたちが、学び舎を寺子屋に求めるケースが増えています。特に貧困などの理由で公教育を受けられない、または小学校を中途退学した子どもたちに対し、寺子屋を通じた学びの場を提供することを重点活動として続けてまいります。引き続き一人でも多くの方に学びの機会を届けられるよう、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 書きそんじ ハガキは 下まで！

うっかり書きそんじたり余らせたりしたハガキ、使っていない切手、商品券、プリペイドカードなど、ご家庭にタンス遺産が眠っていたら下までお届ください。希望のある世界を築くため、あなたの1枚が力になります。

※カンボジアではハガキ17枚で1人がひと月学校に通えます。

※宛名等が気になるようでしたら黒マジック等で塗りつぶしてください。

- ① ユネスコ協会事務局（松井田文化会館）
- ② 矢野登記測量事務所（安中市安中）
- ③ 矢野接骨院（安中市磯部）
- ④ 工具のタキタ・瀧田商店（安中市安中）
- ⑤ お食事と宴席・高嶋屋（安中市谷津）

## 英会話教室

### 入会クラス のご案内

現在コロナのため  
休止中です



### 【クラスの紹介】

- 子ども①（4～6才） ゲーム・単語・歌など
- 子ども②（6～10才） ゲーム・簡単な書く練習・単語など
- 子ども③（11～14才） 簡単な会話練習・日常会話など
- 中学生 センテンスでの会話練習・日常会話など
- 高校生 英検対策も入れながらの上級会話など

お問い合わせ先 矢野 薫 TEL 027-381-1808

当協会は碓氷峠鉄道施設群の世界文化遺産登録を目指しています。碓氷峠鉄道施設群の理解を広め、世界遺産登録に向けた市民の機運の高まりに貢献することが、当協会の取組の一つの柱、そして、ウクライナ避難民の戦争体験を、安中市の若者に伝え、人の心の中に、平和のとりでを築くことを目指したユネスコシンポジウムIN安中2025の開催がもう一つの柱と言えます。シンポジウムでは、多くの方が戦争の悲惨さを理解し平和の尊さを実感しました。第二次世界大戦のような悲惨な戦争を二度と起こさないために1945年11月16日国連でユネスコ憲章が採択されました。しかし、世界に目を向けるとウクライナ侵攻、パレスチナ国ガザ地区での紛争等、次々と戦争が起こっています。私どもにできることの一つとして、次世代を担う若者たちに戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えることです。軍事侵攻が終息し、ウクライナから避難している彼女たちに1日も早く平和な日常が戻り、家族の皆さんと一緒に安心して暮らせる日が戻ってくることを願ってやみません。

## 編集後記

安中碓氷ユネスコ協会

事務局 田村利幸

人の心に  
平和のとりでを  
築く